

超伝導量子干渉素子（SQUID: Superconducting Quantum Interference Device）センサは最も高感度な磁気センサとして、生体磁気計測をはじめとした超高感度磁気計測分野で活用されてきました。近年では光ポンピング磁力計や磁気抵抗素子、ダイヤモンド量子磁気センサといった超伝導を利用しない磁気センサの高感度化が著しく進んでおり、超高感度磁気計測分野が新たな局面を迎えようとしています。そこで、超高感度磁気センサや計測技術、応用に関する近年の研究成果を広く発掘し、本分野の更なる発展を期待して、小特集（2024年6月）を企画しました。本小特集ではSQUIDセンサに限らず、本分野に関わる基礎から応用まで幅広い研究分野の論文を募集します。多数の方々の積極的な御投稿を期待致します。

1. 対象分野

- ・ SQUID 磁気センサ
- ・ 磁気センサ（ダイヤモンド量子磁気センサ、TMR センサ、OPM センサ、MI センサ、フラックスゲートセンサなど）
- ・ 高感度磁気計測技術
- ・ 高感度磁気計測の応用

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、ブリーフペーパーの場合は刷り上がり4ページ以内（厳守）とします。詳細は Information for Authors (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

本小特集では論文の電子投稿を行います。https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Journal / Section”で [Special-SE] Current Situation of Ultra-High Sensitivity Magnetic Sensors and Measurement Rechniques : Present Location of SQUID Sensors を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

4. 論文投稿締切日 2023年6月16日（金） 厳守

5. 問合せ先

小山大介 金沢工業大学先端電子技術応用研究所
TEL [076] 229-8071
E-mail : oyama@neptune.kanazawa-it.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 神鳥明彦（日立製作所）
幹事 小山大介（金沢工大）
委員 紀和利彦（岡山大）、笹山瑛由（九大）、足立善昭（金沢工大）、田中雅光（名大）

7. 重要なお知らせ

- * Webによる電子投稿の際、“Copyright Transfer, Article Processing Charge Agreement, Notices from the IEICE, and Privacy Policy”に承諾して頂きます。
- * 招待論文を含む全ての著者は、論文が採録となった場合、2023年11月頃に掲載料をお支払い頂くこととなります。2023年12月15日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。
- * 採録となった論文は、掲載料が支払われた後すみやかにオンライン上で公開されます。詳細は https://www.ieice.org/eng/shiori/page2_es.html#8 を御覧下さい。
- * 投稿者に非会員が含まれている場合には、この機会に入会することを勧めます。著者全員が非会員の場合、非会員掲載料が適用されます。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <https://www.ieice.org/jpn_r/member/join.html>
- * 参考文献の引用論文数はペーパー：30篇以上、ブリーフペーパー：15篇以上が必須です。
- * 2023年8月号以降に掲載される英文論文誌C分冊のすべての論文は、J-STAGEを通じてオープンアクセスとなります。